

千曲市屋代駅市民ギャラリー条例改正骨子案 に関するパブリックコメントの結果について

総合政策課

1. 実施期間 令和7年12月15日(月)から令和8年1月14日(水)
2. 応募者 3名
3. 意見数 16件
4. 意見内容と回答

◆1月5日(1名、4件)

No.	意見	回答(案)
1	<p>1. 一般利用者への配慮(ゾーニング) 若者以外の利用者もこれまで通り気兼ねなく利用できるよう、入り口付近をパーティションで一部区切り、ベンチ等を数席配置した休憩スペースを設けてはいかがでしょうか。</p> <p>2. 机・椅子の増設 イベント・催物等の開催時には座席が不足することもあるため、利便性向上のための増設を提案します。</p> <p>3. 書籍コーナーの設置 「若者の居場所(ユースセンター)」の事例を参考に、ライトノベルや漫画等を配備し、より親しみやすい環境を整えてはいかがでしょうか。</p> <p>4. 交流ツールの導入 卓球台やカードゲーム、ボードゲーム等を常設することで、若者同士の交流を促進できると考えます。</p>	<p>ご意見の内容も含めて、若者だけでなく、子育て世代、高齢者、駅利用者などが、安心・快適にくつろげる空間づくりを検討してまいります。</p> <p>座席数につきましては、利用状況を踏まえ検討してまいります。</p> <p>「書籍コーナー」の設置につきまして、ご意見も踏まえ、図書館とも連携しながら、幅広い世代の皆さんが気軽に利用できる施設づくりの中で検討してまいります。</p> <p>若者同士が交流できるスペースだけでなく、幅広い世代の学び・休憩などのくつろぎのスペース及び一部展示スペースとしても考えておりますので、ご提案いただいた「交流ツール」の導入につきましても、今後の利用状況や利用者のご意見を踏まえ検討してまいります。</p>

No.	意見	回答（案）
2	<p>1. ターゲット層の再考と「平日昼間」の空白対策 「誰もが利用できる中で、特に子どもや若者が安心して滞在できる場所」という包括的なコンセプトへの転換。 高校生に通学時間に合わせ、早朝（6時30分）から自習や電車待ちに利用できる体制を整えて、施設の有効活用を図る。</p> <p>2. 「bota（須坂市）」をモデルとした、多世代が混ざり合う空間づくり 上記施設のように、カフェ機能、絵本コーナー、コワーキング、チャレンジショップ等が融合した空間づくり。（「飲食」や「交流」ができるソフトを導入し、小さな子どもから高齢者までが「目的がなくても立ち寄れる」明るい雰囲気づくりを求めます。）</p> <p>3. 周辺施設・イベントとの強力な連携（ことぶきアリーナ・観光局など） ことぶきアリーナでのイベント開催時に、本施設が「物販所」「休憩所」「ファン交流の場」として機能するスキームの構築。 イベント時に屋代駅からアリーナまでのシャトルバスを運用するなど、本施設を起点とした「人の流れ」を設計し、利用者の最大化を図るべきです。</p> <p>4. 資金計画の透明化と運営コストの削減 改修着手前に、初期費用（イニシャルコスト）だけでなく、将来の維持管理費（ランニングコスト）を含めた長期的な収支シュミレーションを公表し、市民の税金負担を最小限に抑える運営体制を構築すること。 （豪華な内装や設備（ハード）への過剰投資を避け、予算を「人（運営スタッフやコーディネーター）」や「企画（ソフト）」に優先配分すべきである。条例改正や名称変更だけで終わらせず、ターゲットが自発的に足を運ぶ「仕掛け」にこそ資金を投じるべきだと考えます。</p>	<p>骨子（再検討案）のとおり、「子どもや若者の支援、幅広い世代の市民の交流等」等を目的として、より開かれた多機能の空間を創出してまいります。</p> <p>ご提案の「早朝時間からの利用」につきましては、今後の利用状況や利用者のご意見を踏まえ検討してまいります。</p> <p>骨子（再検討案）のとおり、子ども・若者をはじめ、幅広い世代の市民の交流を促進するための施設として準備を進めております。なお「bota（須坂市）」にもあります、ご提案のカフェ機能やチャレンジショップにつきましては、現段階では考えておりませんが、市内の公共施設等においても整備が可能であるかどうかも含めて全庁的に検討してまいります。</p> <p>ご提案にもあります施設でのイベントとの連携につきましては、現在も「森将軍塚まつり」の際にシャトルバスの運行を行うなどの取り組みを行っております。今後も、イベント主催者や駅構内にあります「ウェルカムステーション」、地域公共交通事業者との連携を構築していく必要がありますので、当該施設の利用者増を図るための貴重なご提案として承ります。</p> <p>安心・安全な施設とするために必要最小限の初期費用（名称板取り換え）とし、維持管理費は、しなの鉄道への土地借上料のほか、清掃委託料・光熱水費など想定しております。シュミレーション（概算値）の公表は、今後検討してまいります。</p> <p>なお、豪華な内装や設備への過剰投資やスタッフ・コーディネーターの配置は</p>

	<p>民間活力と最新システム（無人管理システム等の導入）を活用により人件費を抑制し、低コストで持続可能な運営を目指してほしい。</p> <p>単なる「持ち出し」の施設にせず、カフェやコワーキングスペース、物販など施設自体が収益を生み出し、維持管理費を補填できる仕組みを検討することで、将来的な市民負担を軽減できるものと考えます。</p> <p>5. 条例による用途制限の回避</p> <p>「作品の展示」といった具体的な用途を条例に組み込みすぎると、将来的な活用が硬直化し、市民に「利用制限」の印象を与えかねません。多様な活動を包括できる柔軟な定義にとどめるべきです。</p> <p>6. 親しみやすく覚えやすい施設名称の再検討</p> <p>駅ナカラウンジは機能の説明に留まっているため、須坂市の「bota」のような、短く印象的な造語などの名称を公募などにより再検討していただきたい。</p>	<p>考えておりませんが、ご提案の民間活力や最新システムの導入については、ご意見として承り、市民の皆さんが負担にならないような実効性のある「仕掛け」づくりに心掛けてまいります。</p> <p>当該施設条例には「作品の展示」に係る具体的な用途制限については謳わず、施行規則や運用基準において内容を明記してまいります。</p> <p>名称につきましては、骨子案でお示しした「屋代駅ナカラウンジ」で進めていくように考えておりますが、須坂市の「bota」のような親しみやすい「愛称」を市民の皆さまから募集することなどの検討をしてまいります。</p>
3	<p>1. 施設の課題（3頁）</p> <p>魅力ある駅舎にほど遠いのが、産業の陳列棚（ホコリをかぶっているかに見える）ウェルカムステーションがその機能を果たしていると思うので撤去して、駅の機能を発揮させるか、他に流動的スペースとしておく。駅ピアノの位置も検討いただきたい。</p> <p>2. 名称「屋代駅ナカラウンジ」について</p> <p>「屋代駅の中で、子どもや若者を中心にしつつ、市民誰もがくつろげるスペースとする。」これが最たる目的であります。名称については大賛成です。</p> <p>3. 休館日について</p> <p>通年開催はほんとうにありがたいです。</p>	<p>ご意見のとおり、施設も含めた魅力ある駅舎全体のレイアウトについて、しなの鉄道、関係する部署などと協議しながら進めてまいります。</p> <p>名称にふさわしい活用策を講じてまいります。</p> <p>骨子案のとおり、通年開館で運用いたしますが、今後の利用状況や利用者のご意見を踏まえ最適な活用策を講じてまいります。</p>

<p>4. 施設の空間について トイレには中からも行けるようにしていただきたい。また、手ごろな値のカップ自販機を設置や、何より机とイスを増やしてください。</p> <p>5. 作品展所の利用料について 子ども・学生以外は1回1,000円とか有料にしても良いと思います。</p> <p>6. 各種行事・催物の開催について 展示のように利用料以外の制限はないのですか。</p>	<p>セキュリティや衛生面を踏まえた上で利用者が快適にくつろげるようなスペースとなりますよう、ご提案の内容も含めて検討してまいります。</p> <p>市役所ギャラリーやアートまちかど（1階）の運用基準に準じて無料とさせていただきます。</p> <p>利用回数などの制限は設定しませんが、利用状況や利用者からの意見も踏まえ検討してまいります。</p>
--	--